損税問題は「ゼロ税率」で抜本的解決を

診療報酬での補填は限界

来年4月に予定される消費税の10％への増税を前に、3月31日の参議院厚生労働委員会、財政金融委員会で医療機関の負担する消費税（損税）の問題が小池晃参議院議員（共産）によって取り上げられた。小池氏は8％増税時の影響として私立大学80病院についての調査では、一大学あたり20億円、診療報酬の補填分を差し引いても6億円の持ち出しとなる試算を紹介し、診療報酬での補填は限界であると政府に抜本的解決を迫った。

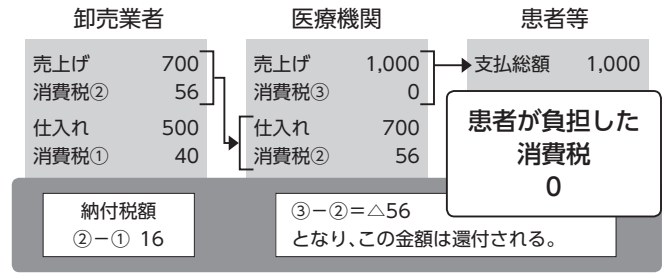
この問題について、厚労省は過去3回の診療報酬への上乗せで補填済みとしているが、その後の改定で包括、減点、廃止され、特に5％以前の消費税対応分が不明確であることを認めている。しかし、財政金融委員会で麻生財務大臣は、補填の実態が不明確にも関わらず、全体として補填されていると答弁した。

また、損税解消策として、日医は診療報酬による上乗せ相当額を維持しながら、これを上回る仕入消費税額がでた場合にその超過額を税額控除すると提案した。財務省は補填済みであるという立場から「還付を導入すれば過大な手当てとなる」と、日医案に否定的な立場をとっている。

協会・保団連は、損税解消策として、①各医療機関により経費構造が異なり、仕入れにかかる消費税も違う②診療報酬への上乗せは、患者負担に繋がる―という観点からゼロ税率（免税）を導入し、損税を還付する方法（図参照）を求めている。

ゼロ税率の導入について財務省は、消費税の減収や特例制度への影響から消極的な姿勢を示している。

図　ゼロ税率（＝免税）で医療機関、患者の負担は解消



▼医療機関の損税問題　消費税は、事業者が課税売上に係る消費税額から課税仕入等に係る消費税額を差し引いて納付する仕組み。保険診療は政策的配慮から非課税であるため、医療機関は患者から消費税を徴収しないが、保険医療材料や機器の購入などには消費税を支払っている。この仕入に掛かった消費税を差し引くことができないため、医療機関の負担（損税）となっている。

損税の額は消費税率5％時でも、年平均で260・1万円（医科・無床診療所）、病院で1億円弱、歯科診療所（個人立）は72・1万円という試算がされている。

北河内地区マイナンバー講習会

個人カード化は危険

北河内地区は、今年1月から運用されているマイナンバーについて、「その狙いと歯科医療機関での取り扱いの注意点」をテーマに2月20日、大阪総合会計事務所の清家裕税理士を招いて講習会を開き、9人が参加した。

清家氏は、政府はマイナンバーを推進するために、「現在、社会保障、税、災害対策の3分野に限られている利用範囲を3年後には民間にも拡大していく方針だ」と説明。マイナンバーは、あらゆる個人情報が紐付けされ、丸ごと流出してしまう危険性があり、利用を拡大させないことが重要だと指摘した。

事業者が従業員の番号を取り扱う上では、「安全管理上の義務規定や、提供を受けられなかった際も経過を記録して残しておくなどの対応が求められるが、現行は努力義務の範囲で、行政の窓口対応も緩やかなものとなっている」とした。

参加者からは、「勤務先から求められ不安におもったが提出した。身分証明になるからといって、常時持ち歩くのは抵抗がある」などの感想が出された。

リレーエッセイ　あの日あの頃　308

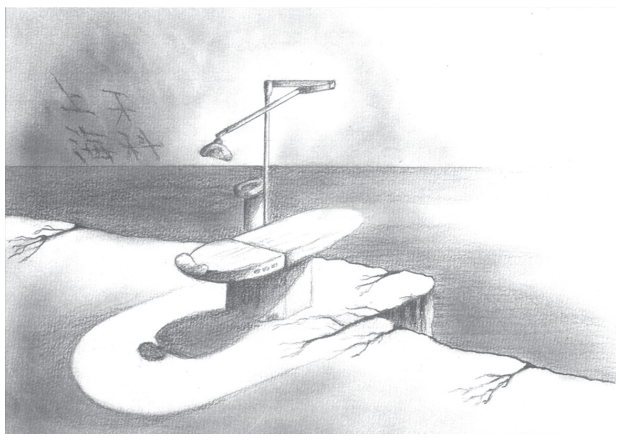
驚き！日中文化の違い

清川虎之進（茨木市）

2006年から07年までの1年あまり、私は中国上海の歯科医院で分院長として働いていた。大学の先輩が、05年に上海でクリニックを立ち上げ、前任の先生が日本に帰るとのことで、急遽、私に白羽の矢がたったのである。中国語も全く分からないまま、話が来てから2週間後に上海へ渡った。そこで前任の先生と3日ほど引き継ぎをし、私と中国人スタッフ3人との仕事がスタートした。

当時上海には、歯科衛生士の学校はなく、彼女たちは看護師の資格を持っていた。簡単なアシストはできるが、スケーリングなどの衛生士業務はできないので、10年ぶりにスケーリングをした。

そして、驚いたことに、彼女たちはこちらから指示しないと全く動かないのである。例えば朝出勤して、私が「掃除してください」と言わないと、決して掃除しない。また、ある日の午後診でアシストしていた彼女がいきなり大きなげっぷをした。その時の患者さんは日本人の方で、苦笑いされた。後でそのスタッフに注意すると、「げっぷを我慢して私の体調が悪くなったら、責任とってくれるのか」と逆に怒られた。



絵　藤田　進（河内長野市）

また、クリニックの忘年会で、お店に行く途中、あるスタッフが手に持っていたごみを道端に捨てたので、びっくりした。理由を聞くと、道路を掃除している人たちの仕事をなくさないように協力しているのだと答えた。その他にも、コンビニの店員がおつりを投げたり、100元札の偽札が横行していたり、タクシーでぼったくられたり、まだまだ書ききれないほどの日本では経験できないびっくりするようなことがたくさんあった。

はじめこそ驚いたが、これらを文化の違いとして受け入れられるようになると見方が変わった。中国人は、いい意味でも悪い意味でも裏表がなく、年長者を大切し、家族のように友人を大切にする。また、おおらかないい加減さは日本人には無い気質だろう。今振り返れば中国で勤務した経験は、苦労もあったがなかなか楽しかったように思える。そして、改めて日本の、日本人の良さを再確認できた。日本人も中国人もそれぞれ習慣や考え方は違うが、お互い理解しあい、仲良くして欲しい今日この頃である。

清川先生ありがとうございました。次回6月15日付は、平野区開業、佐牟田毅先生です。

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

歯科手話教室（基礎編）

日時　4月23日（土）午後2時30分～5時
会場　保険医協会5階　**定員**　30人
講師　東尾建氏（歯科技工士）
会費　会員・スタッフ無料、未入会者1万円
内容　基礎的な手話、初歩的な歯科医療会話練習

新人スタッフ総合講座

日時　5月15日（日）午前9時30分～午後4時
午前：患者接遇マナー研修（クレーム対応含む）、午後：助手編、衛生士編にわかれて研修
会場　M&Dホール
会費　7千円（テキスト代含む）
講師　午前：水原道子氏（大手前短期大学教授）
午後：歯科臨床・学術部講師団
定員　助手編90人
※衛生士編は定員満了となりました
※受講者全員にテキストを配布、『修了証』を発行します
※開催要項・会場案内地図を送付しますので、必ず事前にお申し込みください

5月度生涯研修

小児の外傷と歯内療法―応急対応から長期経過まで

日時　5月22日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　宮新美智世氏（東京医科歯科大学小児歯科准教授）
会費　会員3千円、未入会者1万円

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会市民講座

その健康情報、信じていいの？―バイアスを考える―

日時　6月5日（日）午後1時30分～3時30分
※連絡会の総会を午後1時から開きます
会場　M&Dホール　**定員**　100人
会費　無料　**講師**　小内亨氏（医師）

6月度生涯研修

泣いて、笑って「CR修復・レジン支台築造」―患者とのトラブル回避法教えます！

日時　6月19日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　須崎明氏（愛知県開業、愛知学院大学歯学部非常勤講師）
会費　会員3千円、未入会者1万円

7月度生涯研修

酸蝕症の診断と対応～罹患率26・1％の衝撃～

日時　7月24日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　楠雅博氏（淡路市開業）
会費　会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。